

新成長戦略－「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の実現

目標

2020年

現状

- ◆ 名目成長率3%、実質成長率2%を上回る成長 ← 成長率の低迷(過去10年間実質 1%程度、潜在成長率 1%程度)
- ◆ 2011年度中には消費者物価上昇率をプラス ← 20年に及ぶデフレ傾向(過去20年間消費者物価上昇率0%程度)
- ◆ 早期に失業率を3%台に低下 ← 5%の失業率

7つの戦略分野と21の国家戦略プロジェクト

グリーン・イノベーション

ライフ・イノベーション

アジア

観光・地域

科学・技術・情報通信

雇用・人材

金融

成長の実現に向け、金融の果たすべき役割を重視し新たに戦略分野に位置づけ

新たな需要と雇用の創造

分野	需要創造	雇用創造
環境 (グリーン・イノベーション)	50兆円	140万人
健康 (ライフ・イノベーション)	50兆円	284万人
アジア	12兆円	19万人
観光	11兆円	56万人

戦略を確実に実現するための施策

プロジェクト採択の3つの判断基準

- ◆ 需要・雇用創出基準：需要と雇用の創出効果が高い政策・事業を最優先
- ◆ 「選択と集中」基準：真に必要な性の高い分野への重点化、類似事業の重複排除
 - － 国民参加基準：行政が独占してきた「公」を開き、国民の積極的な参画を重視
 - － 制度・政策一体基準：制度改革との一体的実施により相乗効果が期待できる政策・事業を重視
- ◆ 最適手段基準：限られた財源で最大限の効果を得るために最適な政策手段を選択

プロジェクトの工程管理

- ◆ 工程表管理(実現へのコミットメント)
- ◆ PDCAサイクルによる施策の実施状況、効果のチェック

財政運営戦略との整合性

- ◆ 「財政運営戦略」との整合性を保ちつつ、「新成長戦略」を着実に推進
- ◆ 歳出の優先順位の見直し等による予算の重点化・メリハリ付け

市場の予見可能性の拡大 ⇒ 投資の実現

ITスキル標準とは

情報サービスの提供に必要な実務能力を明確化、体系化した指標で、産学におけるITプロフェッショナルの教育訓練等に必要な共通枠組(ものさし)を提供。

ITスキル標準が登場した背景

環境の変化が及ぼす要因	企業が抱える人材育成の問題点
「モノ売り」の時代から 「サービス」の時代へ	プロフェッショナルとしての IT人材が圧倒的に不足
中国、インド等の オフショア調達への進展	プロフェッショナル人材の把握、 育成が困難
情報サービス産業における 顧客のニーズが多様化	パートナーを含めた レベルの評価が困難
必要なスキルも、それぞれのニーズに 対応するために専門化、深化	プロフェッショナルの 育成市場、手段が貧弱
	スキル保有度合いを評価する 基準が不明確

IT人材に求められる実務能力を体系化した指標「ITスキル標準」の策定・普及が必要

サービスを提供する個々の人材を育成し、管理していくスキームが、企業の競争力に直結

ITスキル標準の目的

- ・ITスキル標準の指標に基づいて、情報サービス産業の**人材育成のための投資が効率的に行われること。**
- ・ビジネス戦略に必要なプロフェッショナルの確立に向けて
 - ①ITプロフェッショナル人材育成 (企業)
 - ②キャリアパスの確立 (個人)

ITスキル標準の特徴

1. 情報サービス産業が対象。ユーザー企業でも応用可。
2. 職種を11に分類し、さらに35専門分野に細分化。
3. 個人の能力や実績に基づく7段階のレベルを規定。
4. レベルは、「**経験と実績**」の達成度指標で評価。
5. キャリアとそのため**に備えるべきスキルを定義。**
6. 参照モデル(自社で必要な部分だけを使用可)。
7. レベル評価手段として**情報処理技術者試験を活用。**(レベル1~3)

ITスキル標準キャリアフレームワーク

職種	マーケティング	セールス	コンサルティング	ITアーキテクト	プロジェクトマネージャー	ITスペシャリスト	アプリケーションスペシャリスト	ソフトウェアエンジニア	カスタマーサービス	ITサービスマネージャー	エグゼクティブ												
専門分野	マーケティング企画・戦略	販売チャネル戦略	マーケティング戦略	インテグレーションアーキテクト	システム開発	ネットワークエンジニア	ソフトウェア開発	データベース	ネットワーク	クラウドサービス	システム管理	アプリケーションエンジニア	システム管理	ハードウェア	ソフトウェア	カスタマーサービス	ITサービスマネージャー	システム管理	オペレーション	サービスデスク	研修企画	インストラクター/トレーナー	
レベル7																							
レベル6																							
レベル5																							
レベル4																							
レベル3																							
レベル2																							
レベル1																							